

わが市わが町

開成町



田植えが終わった水田とあじさい
ものです。

開成町は、神奈川県西部、足柄上地域の中央部に位置し、本町の東側には酒匂川が流れ西には箱根連山、北には丹沢山系、南には遠く相模湾を望み、東西 1.7km、南北 3.8km、総面積は 6.55km²と県内市町村で最小、東日本でも最も面積が小さい町ですが、酒匂川流域に形成された扇状地で、地味肥沃で水利の便が良好ななだらかに南傾している平坦で温和な気候に恵まれています。

町には小田急線開成駅があり、都心まで約 1 時間 30 分の距離にあり、車では東名高速道路大井松田インターから町内まで足柄大橋を経て約 15 分と交通の便にも恵まれ暮らしやすい町です。

人口は約 18,800 人で、町が誕生した昭和 30 年から年々増加しており、平成 17 年の国勢調査から 4 回連続で人口増加率が県内市町村で 1 位と、全国的に人口が減少する中、人口流入が続いており、特に子供の増加が著しく、平成 22 年 4 月には新たに開成南小学校が開校しています。これは、限られた土地を有効に活用し、良好な生活環境を構築するため昭和 40 年代に土地利用計画を整備し、計画に沿った街づくりを整備してきたことが成果として現れた

当町の土地利用計画は、町を大きく 3 つの地域に分け、北部地域は「ふるさとゾーン」として、優良農地を保全すると共に農村の風景を残し、中央地域は「くらしゾーン」として、住宅地を中心に公共施設などを配置、南部地域は「ときめきゾーン」として、小田急線開成駅を中心とした広域交流拠点として新市街地の整備を進めるものです。

その中で北部地域の田園風景は、山や山林が無い当町にとって貴重な自然豊かな空間です。圃場整備された 17.5ha の田園を碁盤の目のように区切る道や水路に沿って、約 5,000 株のあじさいが植栽され、6 月には、箱根連山越しに見える雄大な富士山、田植えが終わった水田とあじさいのコントラストは他にはない風景が見られ、新型コロナウイルス感染症により 2 年間中止していた町最大のイベントである開成町あじ



築 300 年以上の古民家「瀬戸屋敷」

さいまつりが、令和 4 年から再開され、今年は約 193,000 人の方が訪れました。

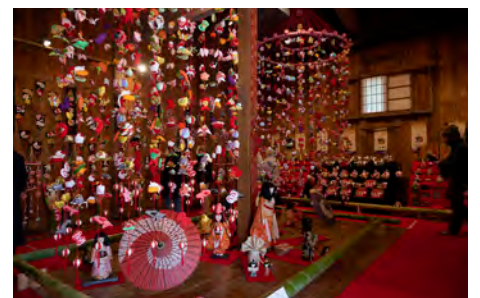
町の観光施設である瀬戸屋敷は、北部地域の中心にあり、代々名主を努めてきた瀬戸家のお屋敷で築 300 年以上の古民家です。瀬戸家から町に寄贈され、地域の方の交流、都市住民との交流の拠点として町が整備をして、施設を利用した展示会、いろいろな体験ができるイベント開催などさまざまな活動が展開され、近頃は外国人のツアーも訪れるなどしています。

地元でとれた旬の野菜や、オリジナルの発酵商品が並んでいる直売所や発酵をテーマにしたメニューのあるカフェが併設されています。

2 月中頃から 3 月初旬には、瀬戸屋敷の一大イベントである「瀬戸屋敷ひなまつり」が開催されます。地元の蔵から発見された 300 年前の「亨保雛」や瀬戸家収蔵のひな人形、また「瀬戸屋敷ひなまつり」を立ち上げた町婦人会の皆さんの手づくりの、色とりどりのつるし雛 8,000 個以上が所狭しと飾られている様子は圧巻です。

ひなまつり期間中は、地元で取れた旬の野菜の販売や地場産の食材を使用した、開成町ブランドでもある「郷弁（さとべん）」も数量・期間限定で販売などして来園者をお待ちしていますので、多くの方のご来町をお待ちしています。

(開成町 産業振興課)



色とりどりのつるし雛